

DV・性暴力被害にかかわる

支援者のための研修講座 2025



コース

Aコース 定員：110名 できるだけ全期を通してご参加ください。[6日間]

4 - 5ページ

現在支援活動をしている方、これから活動しようとしている方、すべての方が対象です。

SANEコース 性暴力対応看護師養成講座

6 - 7ページ

定員：60名（2024年度までのAコース修了者:30名 2025年度 Aコース同時参加者:30名）[6日間]

Aコースを修了している看護職の女性が対象です。Ⅲ期ワークのみ参加希望の方はお問い合わせください。

NPO法人レジリエンスプログラム 定員：40名（会場）＋ オンライン（40名） [2日間]

2ページ

トラウマの理解と支援に関心があるすべての方が対象です。

認定NPO法人CFJ RIFCR™プログラム 定員：40名（会場のみ） [1日]

2ページ

現場の実際に即した内容で構成されています。すべての方が対象です。

事例検討（SV） 定員：10名 Aコース修了者のみ。3日間すべての参加が条件です。[3日間]

3ページ

事例作成の方法からスーパービジョンまで、即支援に役立つ内容で構成されています。

※Ⅲ期スーパービジョン聴講のみ(+10名) 今年度Aコース参加者も申込み可能です。

裁判関連（Ct） 定員：40名（会場のみ）裁判に関する知識・情報が得られる研修。[半日]

3ページ

バイスタンダー（BS） バイスタンダー研修①[半日] すべての方が対象です。

3ページ

定員：40名（会場のみ） バイスタンダー研修②[半日] ①を修了している方が対象です。

SNSとこども性被害 定員：40名 オンライン（会場聴講可:40名） すべての方が対象です。[1コマ] 3ページ

日程	Ⅰ期				Ⅱ期				Ⅲ期				Ⅳ期		
	7/12 (土)	7/13 (日)	8/2 (土)	8/3 (日)	10/25 (土)	10/26 (日)	11/15 (土)	11/16 (日)	12/20 (土)	1/10 (土)	1/11 (日)	2/7 (土)	2/8 (日)	3/7 (土)	3/8 (日)
A	会場				Zoom					Zoom					
SANE			Zoom				Zoom		Zoom			会場 (~24A) 修了者	会場 (25A) 参加者		
レジリエ ンス	会場＋ オンライン														
RIFCR TM													会場		
SV 事例検討							(午後) Zoom	(午前) Zoom				(午後) 会場			
単発 研修														Ct会場 会場	BS② 会場
														BS① 会場	SNSと こども Zoom



会場

東京科学大学 湯島キャンパス

東京都文京区湯島1-5-45

NPO法人レジリエンスプログラム

トラウマの理解と支援

＊会場＋オンライン開催

生きづらさや困難を抱える方へのより良い支援を、当事者・支援者、双方の視点から学ぶ

I期 R1 オリエンテーション

R2 トラウマを抱えた当事者への支援 中島幸子・西山さつき

トラウマを理解した支援のあり方を考える。トラウマが支援者にもたらす影響（代理受傷）についても学び、支援者のセルフケアについても考える。

R3 デートDV予防教育の実践と効果 西山さつき

デートDV予防教育の目的と期待できる効果について考える。学校での予防教育の実施の方法や 効果的な開催方法について検証する。若年層が抱える困難とその支援について知る。

R4 性暴力、性虐待について 中島幸子

当事者の心理と対応について考える。中長期にわたる複雑なトラウマの苦しみと、必要とされる支援について学ぶ。

R5 解離の理解と対応について 中島幸子・西山さつき

トラウマの症状のひとつである解離について解説する。解離とは何か、当事者はどのような困難を感じ、どのような支援を必要としているかについて学ぶ。

R6 支援の現場で役立つ知識 1・アタッチメントと境界線・虐待がもたらす影響力 中島幸子・西山さつき

アタッチメントは、多くの人たちが自分自身への理解を深めるための大切な概念である。虐待がもたらす影響では、トラウマのレンズを通して見たアタッチメントについての知識が重要となる。当事者との境界線のあり方をドラマ・トライアングルという人間関係の力学を通して考える。

R7 支援の現場で役立つ知識 2・傷つきにともなうグリーフ・海外での支援の在り方 中島幸子・西山さつき

暴力や傷つき経験への対応にはグリーフ（傷つきによる喪失と癒しのプロセス）の視点は外すことはできない。米国での子どものグリーフワークの施設、暴力のワンストップセンターなどの視察時のスライドを通して、支援の新しい視点を知る。

R8 ふりかえり・ディスカッション 中島幸子・西山さつき

参加者の方同士の研修内容のふりかえりのディスカッションを行い、感想や質問を共有する。

I期 7月12日（土）					
10:00～10:30	10:30～12:00	12:10～13:10	13:10～14:20	14:20～15:50	16:00～17:20
R1 オリエンテーション	R2 トラウマを抱えた当事者への支援	R3 デートDV予防教育の実践と効果	交流会 昼食	R4 性暴力、性虐待について	R5 解離の理解と対応について
中島・西山	中島幸子・西山さつき	西山さつき		中島幸子	中島幸子・西山さつき

I期 7月13日（日）			
10:00～12:00	～13:00	13:00～16:00	16:10～17:00
R6 支援の現場で役立つ知識 1 ・アタッチメントと境界線 ・虐待がもたらす影響力	昼食	R7 支援の現場で役立つ知識 2 ・傷つきにともなうグリーフ ・海外での支援の在り方	R8 ふりかえり ディスカッション
中島幸子・西山さつき		中島幸子・西山さつき	中島幸子・西山さつき

認定NPO法人C F J RIFCR™プログラム

子供の対応を考える

＊会場開催

RIFCR™（リフカー）とは、子どもの周囲にいる大人が、性虐待・身体的虐待・ネグレクト・DVの目撃等、人には話づらい経験をしたことが疑われる子どもに対してどのように面接し、何を聞くべきで、何を聞くべきでないかということを半構造化した面接プロトコルです。

- ・子どもは性虐待をどのように経験するのか
- ・虐待を打ち明けるプロセス
- ・子どもの性的発達・日本の児童保護制度
- ・RIFCR™（リフカー）プロトコル

III期 2月8日(日)	9:00～18:20	＊会場開催
RIFCR™プログラム（山田・工藤）		

事例検討・裁判関連・バイスタンダー・SNSとこども性被害研修（個別申込可）

事例検討研修（SV）

- Ⅱ期 SV1 ケースカンファのための事例の書き方① 今野理恵子
有意義な事例検討を行うために、人に伝わる事例の書き方のポイントを押さえます。
- SV2 ケースカンファのための事例の書き方② 池田ひかり
相談支援で収集した情報の中から、ソーシャルワークの視点で事例検討に必要な情報は何か、事例にどのように記載するとよいのか、といった事例作成の方法を学びます。
- SV3 ケースカンファレンスのすすめ方 米山奈奈子
よりよい支援を進めるには、まずは事例を理解することが重要である。次に、支援に関与した関係者が、振り返りの場を共有するケースカンファレンスが重要となる。参加者の安全や安心を保障し、気づきや発見を促すために、カンファレンスの運営ではどのようなことを心がけたらよいのかについてもこの場で共有していきたい。
- SV4 ワーク：事例の検討 丹野真紀子・池田ひかり
- SV5・6 事例提出→事例校正 丹野真紀子・池田ひかり
2月のスーパービジョンに向けて事例作成・メール提出（個人作業）

- Ⅲ期 SV7・8 スーパービジョン 小西聖子
SV5・6で作成し提出した事例を用いてスーパービジョンを行います。

Ⅱ期 11月15日（土）午後 オンライン開催		Ⅱ期 11月16日（日）午前 オンライン開催		SV5・6 (個人作業) 事例作成、 提出	Ⅲ期 2月7日（土）午後 会場開催	
13:00～14:20	14:40～16:00	10:00～11:20	11:40～13:00		13:00～16:00	～16:30
SV1 ケースカンファのための事例の書き方①	SV2 ケースカンファのための事例の書き方②	SV3 ケースカンファレンスのすすめ方	SV4 ワーク：事例の検討		SV7・8 スーパービジョン	ふりかえり
今野理恵子	池田ひかり	米山奈奈子	丹野・池田		小西聖子	スタッフ

＊聴講参加

裁判関連研修（Ct） ＊会場開催

- Ct1 裁判のいろは 城祐一郎
皆さんはテレビで裁判を見たことはあると思いますが、実際のところ、どのような手続がなされているか知らないと思います。テレビでは見えないところを正確にお伝えしたいと思います。
- Ct2 証人としての心得 城祐一郎
皆さんは、性犯罪の被害者を救済するための活動などをなされていると思いますが、今後、その専門性が高くなればなるほど法廷に証人として呼ばれる可能性が高くなります。その時に備えて、その際の心構えなどについてお話しいたします。

Ⅲ期 3月7日（土）午前	
10:00～11:20	11:40～13:00
Ct1 裁判のいろは	Ct2 証人としての心得

バイスタンダー研修（BS） ＊会場開催

バイスタンダー介入研修① ワークショップ 本田義明・廣山奈津子

性暴力予防のための一つの手段として、身近でハラスメントや性暴力が起きたときに積極的に介入するアクティブバイスタンダーが注目されています。本研修では、ロールプレイを通してアクティブバイスタンダーとしての行動に理解を深めることを目指します。

バイスタンダー介入研修② ファシリテーター入門 山本潤・脩・本田義明

本研修は、①のようなワークショップを実際に運営するファシリテーターを目指す方向けの講座です。様々な状況でのワークショップを想定した企画やシナリオ作成などを体験します。

Ⅳ期 3月7日（土）午後	
14:00～17:00	
バイスタンダード研修① ワークショップ	
Ⅳ期 3月8日（日）午前	
10:00～13:00	
バイスタンダード研修② ファシリテーター入門	

SNSとこども性被害研修 ＊オンライン開催（会場聴講可）

SNS、グルーミングによるこどもの性被害 櫻井鼓

こども・若者がSNSを介して、グルーミングの手口によって、性被害に遭う例が跡を絶ちません。講義では、これら被害の実情と適切な支援のあり方について、研究成果や架空事例から考えます。

Ⅳ期 3月8日（日）午後	
14:00～15:20	
SNS、グルーミングによるこどもの性被害	

Aコース 支援者のための研修講座：対人支援のあり方と社会構造について考える

I期 A1 コミュニケーションの取り方 丹野真紀子

冒頭で柘植が「女性の安全と健康のための支援教育センター」が研修講座を実施してきた目的と目標などを説明する。その後、講座の導入として、丹野が対人援助をする人たちのコミュニケーションの取り方の基礎的ワークをする。

A2 女性への暴力と社会構造 角田由紀子

なぜ、女性への暴力が肯定され、助長され、容認されてきたのか。社会構造へ深く視野を拡げることで問題の核心に迫り、より確かな支援者を目指す。

A3・A4 ワーク：対人支援の基礎を固める 金香百合

当事者の回復とエンパワーを支援する対人援助者としての自覚をもち、自らの言動や価値観に対する敏感さを磨く。自己理解・他者理解・社会状況・ケアする人のケアを総合的に深める。人間理解として自尊感情や暴力の連鎖についても学ぶ。

A5 働くこととジェンダー格差 皆川満寿美

支援側で働く人自身であれ、相談現場に現れる人であれ、現実の労働問題を理解することは重要である。日本の企業は女性労働者をどう扱っているのか、なぜ雇用における男女間格差はこれほど大きいのか、日本政府による調査を中心としたデータから示したい。

A6 リプロ①日本におけるリプロダクティブ・ジャスティスを考える～健康と権利、そして自由と公正と正義 熱田敬子

リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、フェミニズムの中心的課題の一つである。しかし健康と権利の枠組みからはこぼれてしまう問題もある。アフリカ系アメリカ人の女性たちが提唱したリプロダクティブ・ジャスティス運動を参照し、参加者とともに性と生殖の自由、公正、正義について考える。

A7 障害のある女性と複合差別 佐々木貞子・川合千那未

障害のある女性は性差別と障害者差別を複合的に受けている。視覚障害当事者である講師も同様だ。障害のある女性が置かれている現状と、適切な支援のあり方を学ぶことによって、社会の側の課題をしっかりと共有したい。

A8 暴力被害相談：基本的な考え方と実際 池田ひかり

DVや性暴力などの被害を経験した女性に対する支援の基本姿勢や心理教育、情報提供の仕方、関係機関との連携のとり方、相談時の配慮など基本的なことを学ぶ。

II期 A9 若年女性が抱える性問題とその支援 染矢明日香

SNSが若い世代にも浸透する中で、性暴力・DV被害、思いがけない妊娠、性感染症、将来的な不妊など、若年女性が抱える性の課題とその支援について考える。

A10 女性の自立支援 熊谷真弓

女性問題の視点から女性福祉を考え、母子生活支援施設、生活保護女性更生施設、精神障害者総合支援法施設、女性自立支援施設などの現場で働いてきた講師の経験から学ぶ、女性の自立支援の課題、関係機関との連携、そして支援職について。

A11 リプロ②医療と女性の人権 大橋由香子

刑法堕胎罪の例外規定として中絶を許可した優生保護法は、危険な闇堕胎から女性を救ったと同時に、強制的な不妊手術や中絶も推進してきた。人口政策が女性の身体、人生に及ぼす影響について考える。

A12 性暴力被害と支援 山本潤

性暴力という言葉が聞かれるようになって久しいが、性暴力とは何か、どういう体験であるのかという事が理解されることは少ない。性暴力は被害者に何をもたらすのか、その影響と必要とされる支援について共に考える。

Ⅰ期 7月12日（土） 会場開催					
10:00～	10:15～11:30	11:50～13:10	13:10～14:20	14:20～15:40	16:00～17:20
オリエンテーション	A1 コミュニケーションの取り方	A2 女性への暴力と社会構造	交流会 昼食	A3 ワーク：対人支援の基礎を固める	A4 ワーク：対人支援の基礎を固める
柘植あづみ	丹野真紀子	角田由紀子		金香百合	金香百合
Ⅱ期 10月25日（土） オンライン開催					
10:00～11:20	11:40～13:00	13:00～14:20	14:20～15:40	16:00～17:20	
A9 若年女性が抱える性の問題とその支援	A10 女性の自立支援	交流会 昼食	A11 リプロ② 医療と女性の人権	A12 性暴力被害と支援	
染矢明日香	熊谷真弓		大橋由香子	山本潤	
Ⅲ期 1月10日（土） オンライン開催					
A17 行政の各種支援制度と活用について	A18 子どもの虐待とその支援	交流会 昼食	A19 回復する力、その後の不自由	A20 外国人女性への支援	
中鉢美之	平尾幸枝		上岡陽江	皆川涼子	

A13 シングルマザー、貧困 大原康子

日本のシングルマザーの9割は就業しているにもかかわらず、5割は相対的貧困の状況にあります。
シングルマザーはなぜ貧困に陥るのでしょうか？法制度、雇用慣行、家族観、ジェンダー等の観点から考察します。

A14 LGBTIQ+コミュニティと性暴力 岡田実穂

人口の6～10%はセクシュアル・マイノリティであると言われています。その実際を知らなければ、その人たちの困難に
気付くことはできません。まずは様々なセクシュアリティを学ぶ中から、性の多様性を理解していきましょう。

A15 DV、性暴力とトラウマ 菊池美名子

女性に対する暴力は、女性の身体だけでなく、ここにも深い傷を残すことが多い。その後PTSDと呼ばれる精神症状に
長く悩まされることもある。心の傷と回復について、最前線の治療援助、調査研究を知る。

A16 サバイバーとアディクション 湯本洋介

暴力被害を受けた人のトラウマと、アディクション（嗜癖）-アルコール・薬物依存などの基礎知識、医療的ケアと回復
について専門医に学ぶ。

III 期 A17 行政の各種支援制度と活用について 中鉢美之

複合的困難を抱えた被害女性の支援には、様々な制度を組み合わせた対応が必要になる。関連分野の制度を十分に把握し
て、有効に制度活用できる力をつけよう。

A18 子どもの虐待とその支援 平尾幸枝

虐待を受けた子どもたちとその支援についての基礎的なことを学び、現状の問題点や今後の課題などを民間団体（子ども
のシェルター）の活動から見える実態も交えて考える。

A19 回復する力、その後の不自由 上岡陽江

子ども時代の被虐待経験やその後の性暴力被害、DV被害、薬物中毒、売春という「犯罪」など、たび重なるトラウマを
生きのびてきた女性たちの物語から、回復の道筋をたどる。

A20 外国人女性への支援 皆川涼子

暴力被害にあった外国籍の女性への司法支援に取り組んでいる援助者から、被害実態や被害女性をとりまく困難な状況、
被害者が外国籍の場合の留意点などを学ぶ。

A21 記録の取り方 池田ひかり

記録をとる目的、支援に役立つ記録の書き方・活用の仕方、記録の開示などを具体的に学ぶ。

A22 支援現場に必要な法的知識 森あい・片岡麻衣

DV、性暴力の支援において、司法のしくみはどうなっているのか。関連法律にはどのようなものがあるのか。弁護士の
役割や探し方についても知る。

A23 DV・虐待によるトラウマを前提とした支援 中島幸子・西山さつき

親密な相手からの暴力は女性にどのような混乱をもたらすのか。そのしくみを知り、混乱からの回復のために必要なこと
についても考える。

A24 リプロ③生殖における自己決定 柘植あづみ

体外受精、代理出産、出生前検査……生殖技術が進展する一方で、女性たちが被る精神的身体的苦痛は語られることが少な
い。妊娠・出産・不妊治療・流産・婦人科診療をめぐる女性たちの語りから医療における女性の人権を考える。

Ⅰ期 7月13日（日） 会場開催					
9:30～10:50	11:10～12:30	12:30～13:30	13:30～14:50	15:10～16:30	16:30～17:00
A5 働くことと ジェンダー格差	A6 リプロ①日本における リプロダクティブ・ジ ヤスティスを考える	昼食	A7 障害のある女性と 複合差別	A8 暴力被害相談： 基本的な考え方と実際	ふりかえり
皆川満寿美	熱田敬子		佐々木貞子・川合千那未	池田ひかり	スタッフ
Ⅱ期 10月26日（日） オンライン開催					
A13 シングルマザー、 貧困	A14 LGBTIQ+コミュニテ ィと性暴力	昼食	A15 DV、性暴力と トラウマ	A16 サバイバーと アディクション	ふりかえり
大原康子	岡田実穂		菊池美名子	湯本洋介	スタッフ
Ⅲ期 1月11日（日） オンライン開催					
A21 記録の取り方	A22 支援現場に必要な 法的知識	昼食	A23 DV・虐待によるトラ ウマを前提とした支援	A24 リプロ③生殖における 自己決定	ふりかえり
池田ひかり	森あい・片岡麻衣		中島幸子・西山さつき	柘植あづみ	スタッフ

SANEコース 性暴力対応看護師養成講座

I 期 S1 SANEの役割と課題、IAFNとは 加納尚美

SANE: 性暴力対応看護師に求められる役割、資質、知識とは。日本の現状に即した中で、どのような活躍が期待されているのか。

S2 私のマイクロアグレッション～無意識の思い込み 李節子

さまざまなマイクロアグレッションの実相について学びます。また、時に自分自身がマイクロアグレッションの「加害者」であり「傍観者」であり「被害者」になっていることを自覚し、よりよいコミュニケーションのあり方を模索します。
参考文献：デラルド・ウィン・スー著：日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッションー人種、ジェンダー、性的指向：マイノリティに向けられる無意識の差別 明石書店 2020年。

S3 被害者の理解：社会編 土井真知

DVや性暴力に関する資料や調査結果から、被害の実態、一般社会で信じられている誤解と事実、社会において被害者が置かれている状況等を考える。支援の現場でとまどわないために。

S4 性暴力の証拠採取 検察の視点から 城祐一郎

性暴力に対する法律上の規制、発生時の証拠収集上の留意事項、収集した証拠の証拠能力及び証拠価値の法律上の評価、公判における性暴力事犯の問題点及び収集した証拠の活用状況等。

S5 DV相談機関の活用 池田ひかり

虐待対応とは異なるDV被害者支援の基本的なスタンスやDV被害者支援体制とその利用方法を具体的に学び、支援ネットワークの中での医療者が求められる役割について理解を深める。

S6 SANEが知っておくべき支援の原則 家吉望み

DV/性暴力被害にあった人に医療的ケアを提供するうえで、何に注意すべきか。やってはいけないこと、言っちゃいけない言葉、SANEだからこそできることや限界について、支援の原則を学ぶ。加えてSANEとして「倫理」について学ぶ。

S7・S8・S9 DVの急性期看護(DVD視聴) 三隅順子 ・ ワーク：看護の実際①②【DV】 大内真沙美

DV被害者支援について視聴覚教材で学び支援の原則を理解する。DV事例を用いた聞き取りやアセスメントの演習を通して支援者としての自分の課題について考える。

II 期 S10 保健医療対応：法医学編【損傷の記録】 主田英之

身体的外傷の特徴と治癒経過をふまえ、暴力被害に関連する身体的外傷を正確に観察し、記録することはSANEにとって重要な仕事の一部。後に医学的証拠にもなりうるカルテ記載ができるよう、その知識や方法を学ぶ。

S11 保健医療対応：地域行政編 稲吉久乃

犯罪被害者等基本法には国と自治体と国民の責務があるとうたわれている。自治体としての支援を事例を通じて知り、使っていけるようにしたい。

S12・S13・S14 ワーク：私たちにできる連携①②③ 三隅順子

これまでの講座や地域・職場において得られた情報・知識から、自分たちなりに連携を模索する。当事者の様々なニーズに応えるための連携作りには何が必要か考える。

I 期 8月2日（土） オンライン開催

10:00～11:20	11:40～13:00	13:00～14:00	14:00～15:20	15:40～17:00
S1 SANEの役割と課題 IAFNとは	S2 私のマイクロアグレッション～無意識の思い込み	昼食	S3 被害者の理解： 社会編	S4 性暴力の証拠採取 検察の視点から
加納尚美	李節子		土井真知	城祐一郎

II 期 11月15日（土） オンライン開催

10:00～11:20	11:40～13:00	13:00～14:00	14:00～15:20	15:40～17:00
S10 保健医療対応： 法医学編 【損傷の記録】	S11 保健医療対応： 地域行政編	昼食	S12 ワーク： 私たちにできる連携①	S13 ワーク： 私たちにできる連携②
主田英之	稲吉久乃		三隅順子	三隅順子

III 期 12月20日（土） オンライン開催

10:00～11:20	11:40～13:00	13:00～14:00	14:00～15:20	15:40～17:00
S19・S20 保健医療対応：子ども編 【子どもの性虐待/MDTについて】		昼食	S21 保健医療対応： 産婦人科編 【妊娠と性感染症】	S22 性暴力被害者の 急性期対応の基本
山田不二子			丸橋和子	家吉望み

S15 病院拠点型ワンストップ支援センターにおけるSANEの実践 片岡笑美子

SANEの活動の場としてモデルとなる名古屋のワンストップ支援センターでの実践を知り、自分の今後の活動を考える。

S16 保健医療対応：精神看護編 【トラウマインフォームドケア】 長江美代子

性暴力被害によるPTSDの影響により生活・社会不適応となり再被害をくりかえすという悪循環や、子どもの逆境体験（ACEs）による悪性ストレスなどの社会的公衆衛生の課題を理解し、トラウマインフォームド・ケアの実践を学ぶ。

S17 保健医療対応：精神看護編 【トラウマおよびPTSDのアセスメント】 長江美代子

性暴力被害直後からの被害者の状態と経過、性暴力被害の精神病理を概観した上で、PTSD症状のアセスメントについて学び、尺度（PTSD症状、解離、うつ、不安）を用いた演習も行いながら、PTSD予防の心理教育について実践的に学ぶ。

S18 二次受傷、感情労働、セルフケア 米山奈奈子

被害者支援では、支援者は支援を通して二次受傷を負う危険性がある。特に感情労働の特徴を理解した上でセルフケアの重要性を再認識できることを目指す。

III 期 S19・S20 保健医療対応：子ども編【子どもの性虐待／MDTについて】 山田不二子

性暴力被害にあった子どもにはどのような症状が起きるのか。性虐待の疑いがあったとき医療者として気をつけなければならないことは何か。発達過程にある子どもの支援の特徴について解説する。また、MDTの重要性についても述べる。

S21 保健医療対応：産婦人科編 【妊娠と性感染症】 丸橋和子

性暴力被害によるからだへの影響はどのようなものがあり、緊急対応と長期的ケアとしてどのようなものが必要か。

S22 性暴力被害者の急性期対応の基本 家吉望み

性暴力被害者に対する急性期看護についてポイントを確認する。

S23・S24 ワーク：看護の実践【損傷の記録】【体液採取と記録】 主田・家吉・他スタッフ

性暴力のアセスメントのポイントを押さえ、証拠採取や記載方法を演習する。

S25 損傷記載の講評、対応の基本と確認 主田英之

ワークのまとめを行い、ポイントを確認する。

S26 支援の継続と発展 加納尚美

SANEでの学びについて各自の体験と知恵を出し合い、支援の継続と発展について考える。痛み、涙、笑い、悲しみなどさまざまな感情を自分の変化の糧として、新たな希望や抱負を拓く。

Ⅰ期 8月3日（日） オンライン開催					
9:00～10:20	10:40～12:00	～13:00	13:00～13:50	14:10～15:30	15:40～17:00
S5 DV相談機関の活用	S6 SANEが知っておくべき 支援の原則	昼食	S7 DVの 急性期看護 (DVD視聴)	S8 ワーク： 看護の実際①【DV】	S9 ワーク： 看護の実際②【DV】
池田ひかり	家吉望み		三隅順子	大内真沙美	大内真沙美
Ⅱ期 11月16日（日） オンライン開催					
9:00～10:20	10:40～12:00	～13:00	13:00～13:50	14:10～15:30	15:40～17:00
S14 ワーク： 私たちにできる 連携③	S15 病院拠点型 ワンストップ支援 センターにおける SANEの実践	昼食	S16 保健医療対応： 精神看護編 【トラウマ インフォームド ケア】	S17 保健医療対応： 精神看護編 【トラウマ およびPTSDの アセスメント】	S18 二次受傷、感情労働、 セルフケア
三隅順子	片岡笑美子		長江美代子	長江美代子	米山奈奈子
Ⅲ期 会場開催 2月7日（土）～2024A修了者 ・ 2月8日（日） 2025A参加者					
9:00～10:20	10:40～12:00	～13:00	13:00～14:20	14:40～15:30	15:40～17:00
S23 ワーク：看護の実際 【損傷の記録】	S24 ワーク：看護の実際 【体液採取と記録】	昼食	S25 損傷記載の講評、 対応の基本と確認	S26 支援の継続と 発展	修了証授与 ふりかえりと抱負の共有
家吉/主田/廣山/三隅/横井/寺田/大内/藤由			主田英之/他スタッフ	加納尚美	スタッフ

募集・参加要項

お申込みはHPの申込フォームから、もしくは申込書をHPからダウンロードしてメールまたはFAXで送信してください

■参加費

☆Aコース

- | | | | | |
|---------|----|---------|-----|---------|
| 1) 全期参加 | 会員 | 50,000円 | 非会員 | 60,000円 |
| 2) 期参加 | 会員 | 20,000円 | 非会員 | 30,000円 |

☆SANEコース

- | | | | | |
|-------|----|---------|-----|---------|
| ・全期参加 | 会員 | 50,000円 | 非会員 | 60,000円 |
|-------|----|---------|-----|---------|

☆レジリエンスプログラム

- | | | | | |
|--------|----|---------|-----|---------|
| ・I期2日間 | 会員 | 20,000円 | 非会員 | 25,000円 |
|--------|----|---------|-----|---------|

☆RIFCR™プログラム

- | | | | | |
|---------|----|---------|-----|---------|
| ・III期1日 | 会員 | 12,000円 | 非会員 | 14,000円 |
|---------|----|---------|-----|---------|

☆事例検討 (SV) 研修

- | |
|---|
| 1) II期2日間 (講義) + (後日メールによる個別事例添削) + III期半日 (スーパービジョン) |
| 会員 20,000円 非会員 25,000円 |

- | | |
|--------------------------|--------|
| 2) スーパービジョン聴講のみ (III期午後) | 5,000円 |
|--------------------------|--------|

※Aコースとセットで申し込みの場合、2,000円割引

≪以下の★マーク研修は☆マーク研修と同時申込み可⇒同時申込みで★各研修1000円割引 (5/31迄の申込みに限る) ≫

★裁判関連 (Ct) 研修: IV期1日目午前 会員 6,000円 非会員 7,000円

★バイスタンダー (BS) 研修①、②:

- | | | | |
|------------|-----------|------------|------------------------------|
| ・①IV期1日目午後 | 会員 6,000円 | 非会員 7,000円 | ※昨年度BSに参加された方は1,000円 (割引対象外) |
| ・②IV期2日目午前 | 会員 6,000円 | 非会員 7,000円 | ※↑上記の方以外は①とセットでお申込みください |

★SNSとこどもの性被害 (SNS) 研修: IV期2日目午後 会員 5,000円 非会員 6,000円

●修了者割引 (会員限定、Aコース・SANEコースのみ)

全期修了されている会員の方に限り、修了されているコースを割引料金で再度参加いただけます。

- | | | | |
|-------|---------|------|---------|
| ・全期参加 | 40,000円 | ・期参加 | 15,000円 |
|-------|---------|------|---------|

●特別枠 (会員限定、Aコースのみ) 全期参加費 15,000円 (年会費6,000円)

Aコース参加者のうち、現在支援者として活動している方で、経済的事情で参加が困難な方、または遠方からの参加で旅費の負担が大きい方のための特別枠です。人数に制限があります。秘密は厳守いたします。

※1人につき1度のみ利用可の制度となります。次年度以降申請することはできません。

■振替参加について

Aコース全期・SANE全期でご参加された方は、病気、負傷、勤務の急な都合などでやむなく欠席された場合、原則として次年度に限り振替参加ができます。

ご希望の方は新しい年度のプログラムから該当するコマを選び、必ず下記受付期間中にお申込みください。

ただし、災害や天候、講師の都合等によりプログラムに変更が生じる可能性があることをご承知おきください。

※5月1日より受付開始 ※定員に達し次第締め切ります。

次の4種類の方法からお選びいただき、お申込みください。事務局の宛先は上記枠内に記載しております。

1. HP: 研修講座 研修講座一覧から講座お申込みフォームに進んでください。

※公費参加の方は個人申込書と公費用申込書が必要です。

公費用申込書は、HPからダウンロードしてメールまたはFAXで送信してください。

2. Mail: HPより申込用紙をダウンロードして添付、あるいは事項を明記の上、送信してください。

3. FAX: 申込み用紙に記入し、送信してください。送信時用紙の裏表にご注意ください。

4. 郵送: 申込み用紙に記入し、送付してください。

- ・4日以内 (土日祝を除く) に受付の返事が届かない場合は、お手数ですがご一報ください。
- ・FAXもしくは郵送の場合、メールアドレスや電話番号は一文字ずつはっきりご記入ください。
- ・携帯アドレスをご記入の場合、必ず当センターからのメールを受信できるよう設定をお願いします。
- ・参加される方には、6月上旬頃に参加費の振込み方法などをご連絡します。参加費お振込みの確認をもって参加手続きが完了します。キャンセルされる場合は早めにお知らせください。
- ・一度お支払いいただいた参加費は返金できませんのでご了承ください。